

議会だより 吉野ヶ里

22号

平成23年
12月定例会



● 新年のごあいさつ	2
● 10月臨時会・11月臨時会	3
● 12月定例会	3-4
● 議案賛否状況	5
● 一般質問	6-19
● 議会視察研修・編集後記	20

吉野ヶ里町消防団出初式での馬簾廻し

(平成24年1月8日 中央公園多目的広場)

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム ティー&ビー【発行年月日】平成24年1月26日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ <http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>
にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリックしてください。

新年のごあいさつ



吉野ヶ里町議会議長
大隈 正道

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのこと
と、心からお喜び申し上げます。

日ごろより、町議会に対する温かいご理解とご協力を賜
り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、東日本大震災という未曾有の大災害があ
り、日本中が暗い気持ちとなりました。

そんな中、吉野ヶ里町では、国勢調査により町内人口が
増えましたこと、住みよい町作りを推進してきた皆様のおか
げだと感謝申し上げます。

議会では、特別委員会をつくり、議会改革の協議に入り、
議会自ら襟をただし、この町に必要な議員数や議会として
住民の皆様への情報提供をどのようにしていこうか等を真
摯に話しあっています。

吉野ヶ里町に住んで良かったと思えるまちづくりのため、今
年も議会一同頑張つてまいります。

皆さまにとりまして、本年が実りある飛躍の年となりま
すよう心から祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせ
ていただきます。

本年もよろしく願いいたします

議員 新年の抱負

多良 正裕
『有言実行』課題山積
の吉野ヶ里町、このまま
見過ごす訳にはまいりま
せん。解決に向けた行動
を継続します。

中島 哲夫
復興元年
共に頑張ろう

筒井佐千生
町民の方が健康で健全な
生活環境の町づくりを目
指し、努力してまいりま
す。

城島 敏行
「想定外でした。」で済ま
せない行政施策に、全力
投球してまいります。

初志貫徹

吉富光三郎
今年辰年であります。
町が益々飛躍するよう
頑張つていきます。

古川 輝英
町が急いでやるべきこと
改めるべき政策。スピー
ドが求められる地方の時
代、よりよい町づくりに
邁進します。

伊東 健吾
家族の絆、仲間の
絆、地区の絆を大
切にし、明日の吉野ヶ里
町に向かって頑張ります。

手塚 隆美
「シビルミニマム」住民本
位の生活環境基準に基
づいた、諸施策の着実な
実行に邁進して行きま
す。

馬場 茂
今年も、総てに全力で
挑戦して行きます。

古川 勲
住みよい町づくりを
目指してまいります。

伊東 和孝
合併後6年経過
北部・南部バランスの取
れた町政発展を目指し
ます。

多良 光英
研究心・行動力・継続力
を念として、豊かな町づ
くりを目指します。

立石 良雄
民意に従い、信なくば立た
ずを信条として言行一致、
信念を貫き、次世代のため
徹底した行政改革と情報
公開を推進します。

第2回議会臨時会

(10月14日開催)

【議案第49号】

吉野ヶ里町公共下水道吉
野ヶ里町浄化センターの
災害復旧工事委託に関す
る協定の締結について

・協定の方法 随意契約
・金額 525万5千円

・相手方 東京都
日本下水道事業団

【議案第50号】

平成23年度三田川小学校
プール改修工事請負契約
の締結について

・契約の方法
指名競争入札

・金額 80万7千5百円

・相手方 吉野ヶ里町
三井住友建設株式
会社佐賀営業所

【議案第51号】

吉野ヶ里町東青振温浴施
設の指定管理者の指定に
ついて

(9月議会で町長は同議
案を撤回、今回も議会への
説明不足で議案審議に至
らず、総務常任委員会に
付託された)

第3回議会臨時会

(11月28日開催)

【議案第52号】

吉野ヶ里町職員の給与に
関する条例等の一部を改
正する条例

人事院の勧告に伴い、
国に準じ町条例の改正

【議案第53号】

林道災害復旧事業蛤岳横
断線1号工事請負契約の
一部を変更することにつ
いて

法面施行協議等に伴い
契約金額の変更

849万2千4百円を89
1万7千4百円に変更

・相手方 吉野ヶ里町
牟田建設株式会社

10メモ

※委員会付託とは
議案などをより慎重
に専門的に審査するた
め、常任委員会等に任
せ細部にわたり質問や
調査を行い本会議で委
員長は審査結果を報告。
その後、反対・賛成討
論を得て採決される。

第4回 12月定例会

第4回定例会は、12月7日から16日ま
での10日間の会期で開催された。

町長の提案理由説明のあと、14人の一般
質問、条例改正など12議案を審議した。

12月議会に提出された

議案は、条例関係3件、補

正予算4件、規約の変更、

事務組合の解散、指定管
理者に係る案件等、全12

議案が審議され、全ての
議案が可決された。

条例関係

【議案第54号】

吉野ヶ里町子どもの医療
費の助成に関する条例

本町の子どもの医療費
助成制度の統一化を図る
ため新たな条例を制定

本条例制定により現行
の就学前児童医療費、乳
幼児医療費、児童入院医
療費に関する条例は廃止

【議案第55号】

吉野ヶ里町税条例等の一
部を改正する条例

地方税法の一部改正(寄

付金税額控除)に基づき
改正

【議案第56号】

吉野ヶ里町災害弔慰金の
支給等に関する条例の一
部を改正する条例

【議案第57号】

佐賀中部広域連合規約の
変更について



▲解体か 神埼消防本部旧施設

規約の変更など

【議案第58号】

神埼地区消防事務組合の
解散について

佐賀中部広域連合と神埼
地区消防事務組合を統合
するため神埼地区消防事
務組合を解散する。

【議案第59号】

神埼地区消防事務組合の
解散に伴う財産処分につ
いて

【議案第60号】

神埼地区消防事務組合の
財産は、全て佐賀中部広
域連合に帰属させる。

【要旨】

執行部の進め方
に問題がある、議会への説
明不足など議会軽視であ
り、現時点では反対。

佐賀中部広域連合の消防
事務の共同処理に神埼市
と吉野ヶ里町が平成25年
4月1日より参加するた
めの規約変更

A 合併が町のために
なると考え進めて
きた、議会には説明を行っ
てきたつもりである。

【議案第61号】

神埼地区消防事務組合の
解散について

佐賀中部広域連合と神埼
地区消防事務組合を統合
するため神埼地区消防事
務組合を解散する。

【議案第62号】

神埼地区消防事務組合の
解散に伴う財産処分につ
いて

佐賀中部広域連合と神埼
地区消防事務組合を統合
するため神埼地区消防事
務組合を解散する。

【要旨】

執行部の進め方
に問題がある、議会への説
明不足など議会軽視であ
り、現時点では反対。

壊すのか、現状のまま引
き継ぎできないのか、町
長はもつと積極的な発言
をするべきではないのか。

A 現在は、車庫や倉
庫として活用、解
体は当初からの計画であ
り、平成24年度に解体計
画であるが、今後努力す
る。

Q 広域合併後は、旧
東青振地区に消防
署の出張所計画があるが
なぜ、吉野ヶ里町が土地確
保しなければならぬのか、
広域で出来ないのか。

A 佐賀中部広域連合
の取り決めて、出
張所建設の用地は吉野ヶ
里町で確保し、建物は10
%を町負担残りを構成市
町で負担するとなってい
る。

反対討論
神埼地区消防事務組合
関連の議案に対し、3名
の議員が反対討論

【要旨】 執行部の進め方
に問題がある、議会への説
明不足など議会軽視であ
り、現時点では反対。

指定管理者の指定

【議案第60号】

吉野ヶ里町吉野ヶ里歴史公園駅コミュニティホール
の指定管理者の指定について

・団体の名称

特定非営利活動法人

「弥生吉野ヶ里」

・指定の期間

平成24年4月1日～
平成27年3月31日

【Q】
入札が原則、町とNPOの目的が一致するだけでは随意契約の理由にならない、3年数ヶ月管理されたが成果を示さなくては議論の余地がない。

【A】
町の直営に比べて清掃、管理が良くなった、観光協会に代わる団体として育成したい。

【Q】
月極め駐車場の成果も上がっていないNPOのバランスシート成果、効果、運営費の状況を3月までに提示され、その後に委託料を議論したい。

【A】
3月議会において説明していきたい。

【Q】
「めいぶつ館」もNPOが管理されているが、来年度も公費を使い運営するのか。

【A】
3月の予算審議で、コミュニティホールを含め管理者を公募することを検討すると答弁されていたが。

【A】
企業等から進出や事業の申し入れがあったが現在では未定、今後検討し決定したい。

【Q】
委託費は年600万円、支出内容も事業内容も知られず賛否の判断ができない、委託はこれまでの3年間の実績に基づき判断すべきで、育成の面だけで現在のNPOに任せていいのか。

【A】
まだ十分な団体でないが町おこしを含め取り組んでいる、育てていくことから考えたい。

補正予算

【議案第61号】

平成23年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第4号)
歳入歳出それぞれ、2億8152万1千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ76億1465万円とする。

●歳出の主なものは

●民生費

三田川児童館日よけ設置工事 60万3千円
三田川児童館テレビ購入 25万4千円

●民生費補助金 佐賀県安心こども基金保育所緊急整備事業補助金 7940万7千円(くるみ保育園に、事業費の2分の1を県、4分の1を町補助)

●教育費工事請負費 児童体育館(三田川中学校東体育館)大規模改修工事費全体1億7782万4千円
(平成23年度3155万9千円、平成24年度1億4626万5千円継続費対応)

平成3年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
平成3年度吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算(第3号)
平成3年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
平成3年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第4号)
吉野ヶ里町東脊振温浴施設の指定管理者の指定について
吉野ヶ里町吉野ヶ里公園駅コミュニティホールの指定管理者の指定について
神埼地区消防事務組合の解散に伴う財産処分について
神埼地区消防事務組合の解散について
佐賀中部広域連合規約の変更について
吉野ヶ里町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
吉野ヶ里町税条例等の一部を改正する条例
吉野ヶ里町子どもの医療費の助成に関する条例
林道災害復旧事業蛤岳横断線工事請負契約の一部を変更することについて
吉野ヶ里町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
平成3年度三田川小学校プール改修工事請負契約の締結について
吉野ヶ里町公共下水道吉野ヶ里町浄化センターの災害復旧工事委託に関する協定の締結について

約2分の1が防衛省補助



▲児童体育館の大規模改修工事

●公債費償還金

その他の金融機関資金償還元金 2億3034万6千円

【議案第62号】

平成23年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ、9090万4千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ16億8349万1千円とする。

【議案第63号】

平成23年度吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ、73万8千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ、8億952万9千円とする。
佐賀東部中核工業団地

下水道管敷設工事他

【議案第64号】

平成23年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ、30万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ、1億4056万8千円とする。

総務常任委員会付託議案

【議案第51号】

吉野ヶ里町東脊振温浴施設の指定管理者の指定について

10月14日の議会臨時会で総務常任委員会へ付託されていた議案、総務常任委員長から議長へ報告

【調査結果】(内容抜粋)

議案第51号は賛成多数で可決すべきと決定した。

全議員による5回の事情聴取を受け、総務常任委員会を開催。

議員からは、県へ水質検査結果報告を怠っていた理由と改善計画、協定書履行の執行部の見解、再発防止と報告の徹底、再発生や未報告時のペナル

ティーの有無、現地法人化について質問、これに対し執行部は、指導確認しなかったことの反省、業者にも良い薬となった、県の基準より厳しい改善計画が業者より保健所へ提出されており、今後再発防止の徹底を図ると回答。

反対討論

4名の議員が反対討論

【要旨】 温浴施設は安全対策、危機管理が最重要課題にもかかわらず報告義務違反と、執行部の対応の甘さや責任転嫁に問題がある、議会への説明不足など議会軽視であり、現時点では反対。

賛成討論

2名の議員が賛成討論

【要旨】 水質検査で菌が検出、報告を怠ってはいるが基準値以下であり、順末書の提出やこれまでの実績を評価し賛成する。

指定管理者の名称

香川県 ツルカメO&E株式会社

・期間 平成24年4月1日から5年間

10月 11月 臨時会 12月 定例会
案件賛否状況

第4回(12月)定例会														第2回臨時会	第3回臨時会
平成3年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成3年度吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算(第3号)	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成3年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成3年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第4号)	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里町東脊振温浴施設の指定管理者の指定について	可決	10	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里町吉野ヶ里公園駅コミュニティホールの指定管理者の指定について	可決	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神埼地区消防事務組合の解散に伴う財産処分について	可決	10	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神埼地区消防事務組合の解散について	可決	9	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐賀中部広域連合規約の変更について	可決	10	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可決	10	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里町税条例等の一部を改正する条例	可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里町子どもの医療費の助成に関する条例	可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
林道災害復旧事業蛤岳横断線工事請負契約の一部を変更することについて	可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成3年度三田川小学校プール改修工事請負契約の締結について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里町公共下水道吉野ヶ里町浄化センターの災害復旧工事委託に関する協定の締結について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議席番号順

○=賛成

●=反対

欠=欠席

町政へ物申す
次頁から
一般質問に14人が激論

子供達が安心して飲める水の 今後の対策は

【学校教育課長】平成24年度以降に検討する



吉富光三郎 議員

安全性は確保している。
問 水質検査は年に何回実施しているのか、また検査結果はどうか。

問 三田川中学校の水が水道から薄茶色の水が出ていていると聞くが本当か、把握しているのか、安全性はどうか。

答 三田川中学校の水道水から薄茶色の水が出ていていると聞くが本当か、把握しているのか、安全性はどうか。

答 学校教育課長 昨年秋頃、土曜日曜連休明けに事務室、保健室から薄茶色に濁った水が出てる、しばらく出せば濁りもなくなる。

問 今後の対策はどのように考えているのか。

答 学校教育課長 今年度予算編成会議で、三田川中学校の全面改修を検討したが、財政的な理由から今年度当初予算計上を見送った、生徒への指導徹底、教職員の対

問 三田川中学校において、今年度水質検査を3回実施予定である。



▲築37年の三田川中学校

問 事が起きないと動かないのか、緊急対応が求められることやらないのか、何事に関するような感じを受けるが町長の考えは。

答 町長 小・中学校、公共施設で対策工事もやっている、これも福岡西方沖地震の際に、地震対策で取り上げられ高まった。家でも企業の建物でも町営住宅の関連にしてもバリアフリー化の

問題も一早く工事をした方が良いが、しかし、予算、財政的な問題を考え、三田川中学校は今後、注視していき、今後の方向性を出す考えである。

問 私も財政的な事を考えると同じである、給水管の更新ともなると、何千万円もの予算が必要となる、そこで町内業者で佐賀県経営革新事業の県知事承認を受け、県内初JAB工法で、解りやすく言えば水道管のクリーニング、薬品類を一切使わずコンピュータ制御された圧縮空気と水道水で洗浄するので人や環境にも安全・安心であり、洗浄作業を終えるとすぐに飲用できる水に戻る工法で、費用も給水管の更新と比べると低コストで、洗浄時間も短く学校の長期休暇でなくても通常の土・日曜でも洗浄作業が可能である、検討してみ

問 学校教育課長 今年度三田川小学校の給水管改修工事は、管

答 町長 小・中学校、公共施設で対策工事もやっている、これも福岡西方沖地震の際に、地震対策で取り上げられ高まった。家でも企業の建物でも町営住宅の関連にしてもバリアフリー化の

問 内部腐蝕だけではなく、外部腐蝕、漏水等もあり、更新を決めた、と言いますのが耐震補強工事、空調設備、エレベーター等整備し今後20年以上は使用していく建物だと考えているので工事を行った。又、今後症状に応じて工法も検討していく。

答 町長 耐用年数の問題が一番、破損して使用できない状況になるのが困る訳で、管が40年経経過している事と併せて検討していきたい。

問 他、公共施設、町営住宅での現状は、苦情等はないのか。

答 都市計画課長 町営7住宅を管理、うち、5団地(中の原、川原、立野、萩原、目達原東)の水質検査、貯水槽洗浄を年に1回業者委託で行っている。

問 築35年経つ、中の原団地D棟・萩原団地の長寿命化は計画中である。

答 水道・水質検査による団地住民からの苦情等はない。

問 専門職員採用にやるメリットはどのようなことが考えられるか。

答 総務課長 他の職員への指導的な立場から良い影響を与え、人材育成に繋がり、担当課職員全体が専門知識を吸収する事ができる。しかし、専門職であるため固定的な部署に永年勤務すること、一定の施策やプロジェクト事業が終わった後でも、雇い続けなければならない。

問 公共施設の維持管理、公共施設の建設に伴う設計業務、工事の監督が出来、コンサルまかせでなく、町の立場で適正化の検証、精査ができるではないか。

答 総務課長 県内全市町村の共同出捐金で設立された財団法人佐賀県土木建設技術協会を活用し、最小限の費用で最大の効果が出るよう対処していく。

特定防衛施設周辺整備 調整交付金事業で街路灯の整備を

【企画課長】道路照明施設設置基準をクリアできれば可能



筒井佐千生 議員

問 ①大塚ケ里・中核工業団地線、②大塚ケ里・吉野ケ里公園駅線は、道路改良なされたが街路灯の整備がなされていないが。

答 建設課長 ①は、平成21年度より「社会資本整備総合交付金事業」で、②は、平成16年から平成21年度間で「道整備交付金事業」及び「合併特例債事業」で実施した、街路灯については補助対象外で事業として対応していない。

問 ①は三養基高校生の通学路、②は駅を利用する多くの通勤通学者がおられる、街路灯の整備をすべきだと思

答 建設課長 この2路線は周辺が農地であり、以前、国道385



▲大塚ケ里・中核工業団地線



▲大塚ケ里・吉野ケ里公園駅線

問 合併前、東脊振小学校から川原団地の間の街路灯の整備において、問題があったが、農家に配慮し街路灯の光をおさえる、夜は10時で消灯、電線がいらない自然エネルギーを活用した太陽光発電による街路灯の整備により対応したが、この2路線を、今年交付されることになった、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業による街路灯整備は



▲太陽光発電により整備された学校・横田線

答 企画課長 九州防衛局と協議をしたところ、道路照明施設設

問 できないか。また、町内全域が対象となるのか。

答 総務課長 合併後、東脊振小学校やプール、児童館建設はじめ道路整備事業などが集中したため、専門職員を採用しようとしたが、適任者の人選ができず、現在

文化センター建設に伴う

図書館計画の見直しは

〔社会教育課長〕検討委員会等で検討する



伊東 健吾 議員

問 基本構想、町の基本計画が未だ見えない、コンサル任せの計画であり、町の建設計画が見られず、4施設文化ホール、生涯学習センター、図書館、子供交流館等の事業実施規模は固まったのか。

答 社会教育課長 検討委員会等で2回検討した。今後プロポーザル方式により計画する。

問 図書館の計画面積2000㎡で開架書籍四万五千冊、他町図書館では十五万冊、閑

答 社会教育課長 今後検討委員会等で検討する。

問 4つの現有施設の廃止計画、役場の分散化の見直しは。税収20億、人件費13億、予算規模は80億、借金103億円、現有施設の管理費軽減等早急に図るべきでは。

答 町長 現有施設に不足部等として利用する計画である。

問 他市町の計画、利用状況等、本場に研究したのか。

答 社会教育課長 今後は各課とも調整を図り推進する。

問 建設場所に大塚ケ里南が提示され6ヶ月経過、地区との協議や法手続き、関係者、地権者等への対応は。

答 社会教育課長 県等への事前協議はしているが、これから進める。

問 町道改良工事について箱川地区の改良舗装工事は路肩も狭く、歩行者、自転車等の安全のため、L型壁を設置し、今後の事業効果等考え、用地を相談し工

答 副町長 今度は舗装の補修をする計画で進めている。今後は経済効果等検討し工事施工したい。

特定防衛施設町交付金について



▲箱川地区の道路改修工事

問 平成23年度の交付金3487万円、町民の要望を聞く計画はあるのか。中、長期の事業計画、交付金を生かすため、町の財源をプラスし事業効果を大きくしてほしいが、町の考えは。

答 企画課長 平成23年度は時間が足りず、各課の要望を聞き九州防衛局と協議している。

副町長 平成24年度からは、町民の要望等も聞き、中・長期事業計画も考え、交付金

答 総務課長 現在国県など行政が企画する研修等へ参加させている。東北震災にも多数の職員を派遣、派遣者それぞれ良き研修になった。成果の上る研修参加を実施する。

問 職員の研修、先進地、調査、民間、国、県、地元農工商等への研修を計画実施すべきでは。

答 副町長 長期的人材育成を図り、町民に喜んでもらえる、行政サービスに努めたいと考えている。

駅利用者増に伴う北口駐輪場の整備は

〔商工観光課長〕利用者の動向を見極め検討する



多良 光英 議員

問 公園駅北口の駐輪場に長期間放置された自転車の撤去はなされたのか。

答 商工観光課長 北口の駐輪場は、確保しているが、南口利用者は商店街の臨時駐輪場を利用。

問 管理はコミュニティホールの管理の一つとして指定管理者であるNPO法人弥生吉野ケ里が行っている。

答 臨時駐輪場は監視員を置いていない。不法駐輪については、吉野ケ里自転車等の放置防止に関する条例に基づき、八月に駐輪場内に長期間放置された自転車を48台撤去している。

問 駅の利用者が増加している。駐輪場の整備が必要で



公園駅北側駐輪場(右)公園駅南側臨時駐輪場(下)



答 商工観光課長 自転車の整頓が必要な状態である。今後、良好な環境確保と不法駐輪防止の観点から、利用者の動向を見極め、屋根付きや車輪止め付きの駐輪場等を検討する必要があると考えている。

問 また、南口に自転車預かり所を運営されている方とも協議し整備について検討していきたい。

答 今後不法駐輪監視業務を考えていくべきでは。

問 今後不法駐輪監視業務を考えると、商工観光課長の業務については緊急雇用創出事業にて雇用しているため、本年度で事業は終了するが、北口駐輪場の管理と同様に南口の不法駐輪監視もコミュニティホール指定管理業に繰り入れることを視野に検討していきたい。

町道に対する「安心・安全」対策を

問 県道吉野ケ里公団線久留米分岐点前の渋滞緩和対策及び県道吉田・鶴線(吉野ケ里橋付近)の安全対策は。

答 建設課長 久留米分岐点前については神埼土木事務所が交通量調査を実施。現在青信号を3秒長くし渋滞状況によって時間を少しずつ長くしながら対応し吉野ケ里橋付近ではカーブミラーを北南に2箇所設置した。

問 町道吉野・由手村線で現在改良中の本戦橋東の交差点・外灯吉野・立野線交差点の安全対策は。

答 建設課長 本戦橋東の交差点は、信号機を設置し外灯は今後検討していく。吉野・立野線交差点は、停止ラインの先に「横断歩道」が設置される計画、又、交差点に直角に入るのが良いとされている。



▲本戦橋付近の交差点

高齢者保健福祉の取り組みは

【福祉課長】 高齢者が安心して暮らせるよう
各種サービスを支援していく



中島 哲夫 議員

問 現在我が国の65歳以上の人口は約2958万人、高齢化率約23%である。

答 福祉課長 本町の人口は平成23年11月末現在16238人、65歳以上の高齢者数は3185人、全国平均よりも低い高齢化率19・5%、65歳～74歳の人口は

1528人、75歳以上の人口は1657人となっている。平成24年中には高齢化率は20%を越える。平成12年4月介護保険制度がスタートしたが本町の介護を必要とする人の現状と認定者数は。

答 福祉課長 平成23年10月現在本町における介護認定者は要支援1（78名）要支援2（94名）要介護1（136名）要介護2（86名）要介護3（80名）要介護4（45名）要介護5（39名）計558名の方が介護認定を受けている。



▲福祉センター ふれあい館

問 要支援、要介護の認定には相当の期間がかかるようだが認定までに要する期間

答 福祉課長 高齢者が生涯を通してできるだけ住み慣れた地域や家庭で安心して暮らすことができるように生きがい対策や介護者支援の充実、安心安全で住みやすいまちづくり等さまざまな各種サービスを支援していく。

問 国民健康保険の現状と課題

答 福祉課長 世界に誇れる皆保険の一つとして国民健康保険制度があるが、この国保制度年々加入者が減ってきている。本町の加入者の現状を業種別にお答え頂きたい。

問 世界に誇れる皆保険の一つとして国民健康保険制度があるが、この国保制度年々加入者が減ってきている。本町の加入者の現状を業種別にお答え頂きたい。

答 福祉課長 平成23年12月1日現在の被保険者は約3381人、主たる所得でカウントした業種別にお答え頂きたい。

問 活動支援事業、高齢者の生きがいと健康づくり事業などは充実させて欲しいなどの意見があるがどのように考えるか。

答 町長 確かに合併してから少なくなりましたが、行革の一環でもあった、敬老会などは以前は弁当を準備したりプールの劇団を呼んだりしていたが時間的な問題や経費削減などもあり現在のようになっている、ご理解を頂きたい。

問 医療費が36兆円に達し年々増え続ける一方だが、本町は医療費削減などにどう取り組んでいるのか。

答 保健課長 町としては特定検診の受診率、特定保健指導の実施率の向上に努め検診結果やレセプト分析結果をもとに重症化防止に取り組んでいる。

多額の滞納者に対しての考えは

【町長】 税の公平性から強い姿勢で徴収にあたる



古川 輝英 議員

問 平成21年度より町民税の滞納額を減らす目的で新設された県滞納整理推進機構に参加し職員を派遣したが、今までのように徴収方法が変わったのか。

答 税務課長 毎月督促状、12月に催告状を郵送、夜間の臨戸訪問などを実施していたが、今までと異なった滞納整理を行っている。

問 県への引継ぎ予告書の送付、納税相談窓口の開設通知、これに不応じない時は、金融機関への照会を行い預貯金、生命保険、給与などがあると判明すれば即座に差し押さえを実施している。

答 税務課長 毎月督促状、12月に催告状を郵送、夜間の臨戸訪問などを実施していたが、今までと異なった滞納整理を行っている。

問 町民税の滞納額を減らす目的で新設された県滞納整理推進機構に参加し職員を派遣したが、今までのように徴収方法が変わったのか。

答 建設課長 平成24年度から平成26年度の3ケ年で国道34号から横田住宅までの約1kmの舗装修



▲町道吉田・下三津東線

問 葬祭公園について

答 副町長 合併特例債を活用すると平成27年度までに完了となるが一度スタートすると止められないので、十分協議を行う、今は、その段階に至っていない。

問 環境課長 神埼市と数回協議を実施、葬祭公園建設に伴う現状や課題、建設場所の確認などを行った。

答 副町長 合併特例債を活用すると平成27年度までに完了となるが一度スタートすると止められないので、十分協議を行う、今は、その段階に至っていない。

町民税	滞納金額	滞納件数	徴収率	不納欠損額
18年度	118,798千円	2,074件	92・6%	3,082千円
19年度	136,788千円	2,050件	92・3%	21,877千円
20年度	139,552千円	2,272件	92・4%	5,291千円
21年度	139,534千円	2,386件	93・5%	7,681千円
22年度	119,299千円	1,951件	95・1%	14,836千円

国保税	滞納金額	滞納件数	徴収率	不納欠損額
18年度	93,682千円	868件	79・1%	991千円
19年度	104,662千円	841件	78・5%	18,301千円
20年度	105,049千円	905件	75・4%	7,495千円
21年度	109,544千円	1,072件	74・5%	11,713千円
22年度	101,253千円	985件	75・7%	9,497千円

夏祭を田手川河川敷でできないか

「町長」イベントは実行委員会に託したい



手塚 隆美 議員

問 田手川河川公園の計画、施工から現在までの利用状況、管理状況は。

答 建設課長 田手川河川整備計画は、平成元年旧東脊振村において「田手川河川環境整備計画」の拠点地区として、永山地区砂防ダム付近、学校橋・中央橋付近、川原団地の若葉台団地付近を「重点地区の整備」として計画された。

問 永山水辺公園の活用、管理状況は。

答 建設課長 平成20年に開園したが、

平成22年7月の土石流災害で公園内が危険な状況であり閉鎖している。管理については、役場、土木事務所、永山地区と分担を決め行っている。草刈り、樹木、トイレ等の維持管理については永山地区にお願いしている。閉鎖中も地区で管理はしている。

問 永山地区は水が冷たききれいである。ヤマメの放流や、ホタルの放流をし、夏場の集客は望めないか、又芝刈り機がなく他から借りている、買入できないか。

答 商工観光課長 ヤマメは以前放流していた、少しずつ増えているようだ、ホタルは今後検討したい。

いきたい。

問 学校橋南「中央」の河川公園の活用、管理状況は。

答 建設課長 この地区は田手川親水公園工事として平成5年、親水広場として河川改修と並行して工事された、その後、夏祭など「イベント」等が開催されていた、管理は町が行い土木事務所が年一回の草刈を行っている。

問 以前は夏祭の会場として河川プールにし、昼間は色々な水中競技や水あそび、

鯉やヤマメのつかみ取りなど行い、水に親しんでいた、夜は水上ステージで歌謡ショーが行われ、有名な歌手も参加され好評を得ていた。現在夏祭は自衛隊と共催し、昼間のイベントも行われていない、以前の



▲学校橋南の河川公園

ように夏祭は田手川河川敷でできないか。

答 商工観光課長 平日の昼間で集客が望めないことや諸般の事情で日程がつかず、現在は目達原自衛隊内で行っている、また実行委員会でも河川敷開催を含め色々な意見が出ている。

問 町長 色々な考え、意見は多くあるがイベントは実行委員会に託したいと思う。

答 夏休み中の河川プールとしての利用はできないか。

答 学校教育課長 教育施設としては現在のところ考えていない。

問 南部「若葉台付近」の河川公園はどうなっているのか、また今後どのような計画がなされているか。

答 建設課長 用地は神崎土木事務所で購入されている、河川改修と合わせ河川工事事業を進めるよう確認する。

合併特例債について

問 合併特例債の趣旨は。

答 財政課長 町村建設計画に基づいて行う一定の事業経費、基金積立に要する経費を10年間、借入が認められる地方債。

問 主に利用できる事業、金額は。

答 財政課長 公共的施設の整備旧市町村の交流や連鎖が円滑に進むような施設、道路、橋梁の整備、借入金額の上限額は54億4000万円である。

問 平成18年から平成23年まで借入金額は南部（13億1350万円）北部（6億1030万円）で平成24年度は児童体育館の改修、中央公園駐車場の整備（南部）と利用にバランスが取れていないと思うが。

答 副町長 合併5年を経過している、行政水準の均衡を図るため事業を再度検討する。

委託業者丸投げの学校給食見直しは

【教育長】意見を聞き勉強していきたい



多良 正裕 議員

問 文部科学省体育局長通知によると学校給食は、民間委託も認めるとなっているが、あくまで学校給食の質の低下を招くことの無いよう十分配慮し「献立の作成」は設置者（町長）が「直接責任」を持って実施すべきであるから「委託の対象にしない」こととなっている。

答 教育長 委託業者が作成した献立を検討しているだけの丸投げ状態であり、国の定める基準を守っていないのではないかと指摘している。

問 町長は、完全給食は財政負担が大



▲誰が考えるべきか 学校給食問題

きくできないと3月議会で答弁されたが、どれだけの負担増になるのか、本町の無駄をなくせば対応できるはずである。

答 学校教育課長 学校給食費は、現在小学生平均月額3100円で完全給食になると年間約42000円の増額。

中学生の平均月額は、34000円で完全給食になると年間46000円の負担増となる。

町の加工負担は、現在一食158円であるが完全給食になると、38円の負担増となり、1200万円の増額になる。

問 上峰町は本町と同じ委託方式であるが、町独自で学校栄養士を雇用、年度途中に契約を変更し、地元の食材調達に取り組むとともに、町長自ら地元産使用実態を毎月確認されている。次代を担う子供たちへの「食育」に対する行政の意識の差がここに出て

答 教育長 隣の町は隣の町の事情がある、栄養士よりもっと大事な、ICTや小中学校連携の職員を配置したい。県内小中学校で業者に丸投げは吉

総合文化センター

検討委員会の傍聴は出来ないか

問 現在、検討委員会は何を審議されているのか分からない、町民の意見を聞く場もない、せめて傍聴できるようにならないかと9月議会で質問したがその結果はどのようなものか。

答 社会教育課長 町長より7月に諮問された内容については、町の広報で知らせたい、今後は、プロポーザルに向け本格的な内容に入る。住民の傍聴については、検討委員会に意見を聞いたが、周りに多くおられると発言しにくいので傍聴は控えて頂きたいとのことであった。

問 10月の議会全員協議会の席上、文化センター建設が紆余曲折し解決のめどが立たないなら一度リセットし白紙からやり直したらどうかの意見が出されたように、町長の思惑より住民の意思を尊重し原点に戻り見直すべきと考えるが。

答 町長 一度立ち止まると再び歩き始めるタイミングの問題がある、内容が悪いというのは議会15人中多良議員一人の意見である。止まるとなれば、福岡県がこれまでの経費を見てくれるかを踏まえ、協議していきたい。

指定管理者による施設を第三者評価し モニタリングさせては

【副町長】前向きに検討をする



城島 敏行 議員

問 5年に1回、3年に1回の計画、

の視点で確認、顧客満足度など調査を判断し、さらに、安定的、継続的な経営と財務の視点からもモニタリングをやってもいい。

また、運営を細部にわたるまで評価を行うことで、次期の指定管理者を選ぶのにも反映できる。第三者評価委員会を設置できないのか。

答 町長 指定管理者更新時に要項、仕様書、協定書のとりまとめ、管理運営の代行が適正に行われていたか、また、定められたサービスを提供しているかを確認するためのモニタリングの実施については、委員会設置、業者委託等の方法はあると思うが、設置について前向きに検討したい。

問 各家庭に配布されたハザードマップの策定基準は、150年に一度程度起こる大雨で、48時間の雨量が521ミリが降り、筑後川及び田手川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域がしめされ、また、土砂災害危険箇所については、佐賀県で指定された箇所が示されている。

最近の雨量は、521ミリを遙かに超える雨量で、昨年10月、鹿児島県奄美市名瀬では777・6ミリの雨量を記録し、本年9月4日、奈良県十津川村野尻で48時間の雨量が1200ミリを記録している。

吉野ヶ里町に、150年に1回程度起こる大雨や、521ミリを超える雨量は、何時でも起こり

答 町長 本人の希望も尊重し、言われた事も踏まえながら今後の人事を考えていく。

その辺はきちんと考えているのか。

答 町長 反省すべきところ、今後は発言をふまえて対応していきたい。

問 町長 本人の希望も尊重し、言われた事も踏まえながら今後の人事を考えていく。

答 町長 本人の希望も尊重し、言われた事も踏まえながら今後の人事を考えていく。

答 町長 本人の希望も尊重し、言われた事も踏まえながら今後の人事を考えていく。



▲西石動地区 田手川の河床の石

ローリングストーン

問 西石動地区を流れる田手川に、大きな石が目に入ってくる。この大きな石は、大雨時に上流から流れてきたと思われる。

大雨の時に起こる、石の上を石が転ぶローリングストーン現象で、川の堤防を壊し、石を道路に跳ね上げ、川沿いの民家を壊した事例がある。

川を荒れ狂い、流れてくるローリングストーンは怖いもので、二次災害を

答 建設課長 平成21年、平成22年の豪雨時に国道385号の西石動地区で越水したおり、土木事務所要望した。

平成23年度において、国道385号線路肩にコンクリート擁壁を行い、未実施区間がある護岸を実施しながら河床の整備を行うように計画されている、地元の方長に対して説明を行い、承諾を得たところである。

定年間近の課長クラス 早期退職者が多い なぜか

【副町長】健康面など一身上の理由によるもの



馬場 茂 議員

問 私に耳に聞こえてくる中で、議会で追及が厳しいので早く辞めたいとも聞いているが、その辺はどうか。

答 副町長 健康面等一身上の理由により退職している。

問 人によってはそれぞれ得手不得手があり、得意分野で仕事が行えれば能力もフルに発揮出来るが、本当に適材適所の人事をされているのか。

六月の一般質問でも聞いたように、正副課長が僅か一年足らずで同時に異動し、後任者はとても苦勞していた。

問 各家庭に配布されたハザードマップの策定基準は、150年に一度程度起こる大雨で、48時間の雨量が521ミリが降り、筑後川及び田手川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域がしめされ、また、土砂災害危険箇所については、佐賀県で指定された箇所が示されている。

最近の雨量は、521ミリを遙かに超える雨量で、昨年10月、鹿児島県奄美市名瀬では777・6ミリの雨量を記録し、本年9月4日、奈良県十津川村野尻で48時間の雨量が1200ミリを記録している。

吉野ヶ里町に、150年に1回程度起こる大雨や、521ミリを超える雨量は、何時でも起こり

答 町長 本人の希望も尊重し、言われた事も踏まえながら今後の人事を考えていく。

その辺はきちんと考えているのか。

答 町長 反省すべきところ、今後は発言をふまえて対応していきたい。

問 町長 本人の希望も尊重し、言われた事も踏まえながら今後の人事を考えていく。

その辺はきちんと考えているのか。

答 町長 反省すべきところ、今後は発言をふまえて対応していきたい。

問 町長 本人の希望も尊重し、言われた事も踏まえながら今後の人事を考えていく。

その辺はきちんと考えているのか。

答 町長 反省すべきところ、今後は発言をふまえて対応していきたい。

問 町長 本人の希望も尊重し、言われた事も踏まえながら今後の人事を考えていく。

その辺はきちんと考えているのか。

答 町長 本人の希望も尊重し、言われた事も踏まえながら今後の人事を考えていく。

その辺はきちんと考えているのか。

さざんか千坊館リニューアル計画は

【町長】 議会と協議し検討する



伊東 和孝 議員

平成19年3月に策定された、吉野ヶ里町観光戦略計画は、現在どのように進んでいるか、観光みらい会議を立ち上げたと聞くが、現在の進捗状況は。

商工観光課長 平成23年4月に、観光みらい会議を13名で発足した。

現在17名で構成している、内容としては、観光資源の掘り起こし、資源を生かした集客策、観光客の満足度を上げる知恵などを毎月1回の会合で話し合っている。

問 さざんか千坊館、オープンして5年半が過ぎ、現在は道の駅として盛況である、利用客より要望、不満も聞くが、改装リニューアルの考えは。

答 商工観光課長 一般的に5年〜7年

位で改装リニューアルするのが普通であると聞いている、改修する所も出て来ており、指定管理者と協議をして、検討していきたい。

答 商工観光課長 指定管理者更新時の申請の中にも、リニューアル提案を求めている、次の指定管理者と協議しながら、町の考えを含めて進めていきたい。具体的には今からである。

問 古民家の活用があまり利用されていない、リニューアルを機に古民家の活用も検討してほしいと思うが。

答 副町長 さざんか千坊館、山茶花の湯にしても、リピーターを作っていく上では定期的な改装リニューアルは必要だと思っている。古民家の活用は設置目的等を考え今後議会とも十分話し合って検討したい。



▲リニューアルが待たれるさざんか千坊館

問 山茶花の湯が平成24年3月末で更新となる、更新を機に改装リニューアルを予定されているが、どのような改装を計画されているか。

答 副町長 さざんか千坊館、山茶花の湯にしても、リピーターを作っていく上では定期的な改装リニューアルは必要だと思っている。古民家の活用は設置目的等を考え今後議会とも十分話し合って検討したい。



▲土石流災害復旧工事現場

問 大雨による林道崩壊が原因である今回の土石流災害、自然災害としての対応だけでなくのか。

答 副町長 被災者の心情は良くわかるが、県として豪雨による自然災害とする以上、町として何も言えない。

永山土石流災害について

問 昨年7月14日発生した、土石流災害、現在までの災害復旧工事の進捗状況、工事完了予定は。

答 農林課長 林道蛤岳横断線に関しては、12月21日には通行出来るようになった。

問 建設課長 砂防ダム工事完了が平成24年2月末と聞いている。神崎土木事務所より、今後田手川までの流路工事が、平成24年度工事で計画され、平成25年3月を目途に完了する予定である。

答 総務課長 現在4世帯は、永山地区の借家、中原団地、川原団地、目達原団地に避難されている、町としては家賃補助をして、被災者支援担当職員が、定期的に訪問している、平成24年3月を目途に帰宅出来るように考えている。

問 大雨による林道崩壊が原因である今回の土石流災害、自然災害としての対応だけでなくのか。

答 副町長 被災者の心情は良くわかるが、県として豪雨による自然災害とする以上、町として何も言えない。

聖茶まつり 茶の発祥地として自負心と啓蒙啓発を

【商工観光課長】 意義を町内外に示すイベントに



中島 正晴 議員

問 聖茶まつりの趣旨は、「米西禅師の偉業を偲ぶと共に茶の振興を図ること」であるが、併せて「日本茶の発祥地として町民に自負心を抱かせる学習と啓蒙啓発の場」となるイベントにすべきである。

答 商工観光課長 大 祭以外の実施内容

問 吉野ヶ里歴史公園と共に日本茶の発祥を「愛郷心」教育の一貫として、取り上げるべきではないか。

答 学校教育課長 茶 発祥の地は、他市町に誇れる史跡であり、「愛郷心」を育む教育にふさわしいものである。

また、茶西とお茶が日本文化に果たした役割を考えれば、教育的価値がある。大変意義のある提言であり、実現できる道を探っていきたい。

問 平年の聖茶まつりは、供養と献茶のみであるが、招待客一同が会し、米西禅師の偉業を偲ぶ直会で会食、茶道を嗜む等のイベントにはどうか。

答 商工観光課長 大 祭以外の実施内容

問 「夏」ふれあいまつりは、ここ2年目達原駐屯地の祭りに吸収され、田手川河川敷での祭りが中止されている。

答 本来、駐屯地は地域住民とのふれあいと、自衛隊員家族の慰安を目的に祭りを開催しており、大金を叩き共同開催する必要がある。

また、河川敷での開催は、水に対する児童生徒への教育、学習、町民



▲賑わいをみせていた「田手川河川敷夏まつり」

問 全天候型ステージ建設を要望

答 町長 3年前から設を要望している。

問 体育大会は校区別に

答 町長 現時点では

問 合併後の市町民町でも大変苦慮されているが、県内殆どの市町が小学校校区開催である。本町も合併6年目であり、町長のキャッチフレーズは、

答 町長 現時点では

山茶花の湯のプロポーザル方式と 審査基準について

【商工観光課長】公正・公平・厳正な審査のため



立石 良雄 議員

問 専門知識のない方がいくらか厳正な審査をしても結果は何もならない、目的の候補者を決定させるための割合に職員を配置したとしたか第三者には思えない、出来レースではないか。

答 商工観光課長 関係する課、施設の建設等行政サイドから見た審査ができるということと職員4名を入れた。

問 専門的な方とは運営に関しては温泉関係の同業者、財政上の問題は、公認会計士、又は税理士、学識者は専

門の大学教授、集客については旅行代理店の店長クラス、町の行政上については町長以外の執行部代表の5人程度がベターである。

問 これ以上人数を多くしても点数を上げるための割合をせと不審を招く。

指定管理業者の指定は議会の議決があるため、9月15日、ツルカメ(株)を指定するため、第40号議案で提案されていたが審議直前に諸般の事情という理由で取り下げられたが。

答 町長 9月14日に山茶花の湯に、佐賀中部保健所



▲山茶花の湯

が立入り調査、その結果、議案審議を取り下げた。10月15日、事前に説明会も、協議会もなく、全く同じ議案を臨時議会で提案されたが議会軽視も甚だしい。結局、議案審議は行われず全員協議会でこれまでの経緯が説明された。

問 町長の隠れみの的存在の文化センター建設検討委員会は全くと建設ありきの委員会である、私は従前から問うているのは、現時点において本当に建設して良いのか町民に問うべき、と主張しているが町長執行部は無視し続けている、副町長が旧東背振村助役時代にダム対策室長を兼務し、55億円の予算を確保したが、その時の国県への申請時点では文化センターが必要不可欠として掲げたのではなく、より以上の額を確保するためであった。

答 町長 立石議員が反対されても止めれば議会軽視と言われる。

本町の未婚率23.2% 行政での婚活は

【企画課長】側面から支援していくやり方が好ましい



古川 勲 議員

問 本町の年齢別人口構成は。

答 企画課長 15歳未満の割合は16.1%で県平均や全国平均を上回っている、65歳以上の割合は、19.9%で県平均や全国を下回っている。

問 40年後の日本の人口は、9515万人へと激減する予測である、少子高齢化時代の町政の視点は、子育てしやすい環境の整備とPPPK(Parenting Power)の生活支援と考えるが。

答 町長 文化サークルやスポーツサークルへの参加など、健康づくりの支援を行っていく。

問 未婚者の現状はどうなっているか。

答 企画課長 本町における未婚率は23.2%、同じ条件では、佐賀県20%、全国の場合は、22.7%となっている。

問 独身でいる理由について、男女とも正規雇用者が大きく減り、逆にパートや派遣などで働く人が増加したのも要因ではないか、また、本町が県平均より3.2%も高いのはなぜか。

答 企画課長 独身でいる理由で一番多かったのは「適当な相手にめぐり合わない」であり、「結婚資金が足りない」や「異性とうまく付き合えない」などの理由がある。

問 本町が高い理由は、自衛隊の隊舎や企業の独身寮が多いのが要因と思う。



▲幸せな結婚式

答 副町長 下水道など、インフラ整備も完了したので、これからはソフト面の充実で住みやすい町づくりに努めていく。

答 町長 今後、指定管理業者の指導監督を徹底していく。

答 副町長 確かにそういう話はあった、元の福島村長は、小さくても文化ホールは是非ほしいと言われていたが私も文化センターは必要と考える。

議会広報委員会視察研修報告

熊本県高森町・益城町

高森町 住民が
主役の町づくり

11月24日・25日に熊本県阿蘇郡高森町と上益城郡益城町を視察した。

高森町は人口約7200人、熊本県の最東端に位置し北は大方県、南は宮崎県に接し、阿蘇のカルデラ内に拓けた標高500～800mの地で、高冷地の特色を生かした野菜作りや畜産が営まれ、国民休暇村や温泉を中心に観光振興と企業誘致も進められていた。

一方で、高齢化と過疎対策も抱えていた。

平成23年4月に町長、議会議員の選挙が行われ情報公開の徹底が「住民主役の町づくり」の第一歩と訴えられて新町長が誕生、議会も10名中4名が新議員でした。

高森町議会だより「絆」は熊本県議会広報「リンク

ールで入選、紙面の特徴は、行政への関心を高めるため、議会の活動状況や討論内容を町民の皆さんに知らせる事を責務とし、積極的に議会紹介に努められた。

その結果、議会傍聴者も毎回多く、口頃からの情報公開の重要性を感じました。

現在の取り組みは、議会改革の第一歩として議会報告会を実施、次年度以降は、「議会基本条例」の取り組みを計画、議員の政策能力の強化のために住民との対話を大切に「住民主役」の町を目指されている。

※我が吉野ヶ里町の情報公開は十分なのか、住民との対話を通して「住民が主役の町づくり」が行われているのか、住民との対話も意向調査もなく執行部主導の検討委員会の意見を基



高森町広報研修

に町長の思惑で進められる「総合文化センター」の進め方に行政の差を感じる研修であった。

益城町の交流情報センター「ミナテラス」

益城町は熊本市の東に隣接、人口約3万4千人で住民投票により熊本市と合併しないと決定。

空港や高速道路のインフラを抱え、熊本市の交通拠点、ベッドタウンとして発展し工業団地の整備で活気ある町であった。

情報交流センター「ミナテラス」は平成21年に建

設、鉄骨造りで一部2階建て、建設面積約3000㎡、事業費約11億5千万円で町づくり交付金を活用。発端は、住民主体による「益城町に図書館をつくらう会」が発足、視察研修と独自の活動の後、議会も参加する「住民懇話会」が設立された。

平成23年度運営費は、総額9600万円（図書購入費1545万円含む）、職員14人体制で正職員4人、図書館司書8人、管理人2人体制。

幼児から高齢者まで全ての住民が親しみをもち訪れることのできる「学習、情報交流」に配慮された施設であった。

「学習室や視聴覚室も整備、町づくり活動支援センター「まちサポ」はボランティア活動を行う住民の拠点として活用、運営はボランティア協議会事務局の社会福祉協議会に委託、稼働率は約40%で年々向上していた。

平成22年建設の文化会館も視察、総工費約17億1

千万円、クラシック演奏に適したホールで座席数は517席であった。

人口の割に座席数が少ないのではとの質問に「住民の皆さんが使い勝手の良い規模を建てることが一番」で、狭いと思ったことはないと答われた。

※住民主導の図書館建設は、独自に九州各県の図書館を調査し行政に要望、その結果翌年には議会も行政も体制を整えられた。

また、住民ボランティアが独自活動出来る拠点づくりのため、住民が積極的に建設に係る体制づくりは、我が町も見習うべきではないだろうか。



益城町の交流情報センター

編集後記

平成23年は激動の年で、3月11日の東日本大震災は未曾有の災害で、特に福島原発の事故は人類最大の人災事故となりました。

また、7月には、近畿地方を襲った台風により大きな被害を受けました、被災された皆様の一日も早い復興を願うものです。

行政において、災害対策に想定外はあってはならないことです。

12月議会では議員14人が一般質問し、行政執行の問題点を質しました。

今年は、町民の皆様との対話と絆を大切に、議会議員一同更なる町政発展に励みます。

○議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 多良 正裕 |
| 副委員長 | 吉富光三郎 |
| 委員 | 立石 良雄 |
| 〃 | 手塚 隆美 |
| 〃 | 筒井佐千生 |
| 〃 | 伊東 和孝 |
| 〃 | 中島 哲夫 |